

令和6年度の重点課題

○男子

・「上体起こし」において、県平均値かつ全国平均値より劣っている学年が多い。

・「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より劣っている学年が多い。

○女子

・「反復横跳び」において、県平均値かつ全国平均値より劣っている学年が多い。

○共通

・「握力」において、県平均値かつ全国平均値より劣っている学年が多い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 握力を高めるために、廊下にハンドグリップを用意し、継続的に取り組むことができるようにした。
- 握力向上のために、「握力カード」を作成し、目標をもって取り組むことができるようにした。
- 体育委員会が休憩時間に、重点課題を意識した遊び方を放送で紹介した。
- 運動の苦手な児童には、スモールステップで徐々に向上させた。
- 持久力を高めるために、「マラソンカード」や「なわとびカード」を作成し、目標をもって練習できるよう取り組んだ。
- 町内の体育主任と連携を深め、情報交換を行い、体力の向上を図った。
- 各児童の新体力テストの結果を児童と保護者に知らせ、運動への関心を高めさせた。
- 長期休業中には、「がんばりカード」を配布し、家庭でも体力向上に努めることができるようにした。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	21.19	21.15	39.92	42.31	50.50	9.34	157.42	22.27	56.08	第5学年	14.97	18.71	42.88	35.06	39.88	9.97	143.89	14.18	54.22

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	21.19	21.15	39.92	42.31	50.50	9.34	157.42	22.27	56.08	第5学年	14.97	18.71	42.88	35.06	39.88	9.97	143.89	14.18	54.22

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	8.00	32.00	24.00	36.00	第5学年	26.67	23.33	20.00	30.00

学校独自の意識調査

令和7年度の児童生徒意識調査では、「外に出て遊んだり、運動したりして体を動かしていますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童が55.8%、否定的な回答をした児童が44.2%だった。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 運動の苦手な児童にはスモールステップで徐々に向上させる。
- 体づくり運動の学習において、全身の筋力や敏捷性・瞬発力を高める活動を多く設定する。
- ボール運動の学習において、投げる楽しさを味わえる活動を多く設定し、投力を伸ばす。

体育の授業以外で行う取組内容

- 町内の体育主任と連携を深め、情報交換を行い、体力の向上を図る。
- 各児童の新体力テストの結果を保護者や児童に知らせ、運動への関心を高めさせる。
- 長期休業中に課題を設定し、継続的に運動に取り組むことができるようにする。
- 体育委員会が休憩時間に重点課題を意識した遊び方を放送で紹介し、外遊びを促す。
- 握力強化につながる運動を啓発したり、児童による体力づくりのイベントを開催したりして、児童が意欲的に取り組めるようにする。

重点課題

情意面での課題

- 共通
  - ・「運動が好きですか」の質問に対して、否定的な回答をした児童が男子60%、女子50%だった。(第5学年)
  - ・「外に出て遊んだり、運動したりして体を動かしていますか」という質問に対して否定的な回答をした児童が、44.2%だった。

体力面での課題

- 女子
  - ・「握力」「反復横跳び」「50m走」において、県平均かつ全国平均値より劣っている。(第5学年)

令和8年度の重点目標値

- 「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対する肯定的な回答を60%以上にする。
- 「50m走」「握力」において、本校第5学年の平均値を、県平均かつ全国平均値以上にする。
- 新体力テストの総合評価(AB-DE)率20%以上にする。